



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 森永乳業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2264 URL <http://www.morinagamilk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 紘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員広報部長 (氏名) 田形 均

TEL 03-3798-0126

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	316,177	0.5	14,309	9.9	14,327	8.7	5,315	△23.9
22年3月期第2四半期	314,685	0.8	13,015	40.8	13,179	41.7	6,987	79.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	21.18	21.14
22年3月期第2四半期	27.67	27.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	360,531	107,520	29.3	421.57
22年3月期	357,880	103,635	28.4	405.26

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 105,786百万円 22年3月期 101,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	7.00	7.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	588,000	0.5	17,700	3.5	17,500	2.8	6,000	△25.2	23.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 253,977,218株 22年3月期 253,977,218株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,044,381株 22年3月期 3,018,930株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 250,934,971株 22年3月期2Q 252,512,343株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 連結	8
(2) 連結経常利益の増減益要因	9
(3) 個別	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策の効果などにより緩やかな回復基調をたどりましたが、依然として雇用情勢は厳しく、欧米経済の減速や円高・株安の傾向が強まるなど、引き続き景気の先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、消費者の節約志向、低価格志向が定着し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客さまのニーズに応えた商品の開発、改良に努めるとともに、厳しい市場環境の中で、積極的に販売促進活動を行ってまいりました。一方で、原材料の有利調達および生産・物流の合理化や経費の削減など、各部門において引き続き、徹底したローコストオペレーションに取り組みました。

これらの結果、森永乳業単体の売上高は、猛暑の影響もありアイスクリームが大幅に売上を拡大しましたが、牛乳類、プリン、乳飲料などが前年同期実績を下回ったことから、合計で前年同期実績を下回りました。一方、連結子会社の売上高が前年同期実績を上回り、当社グループの連結売上高は3,161億7千7百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

連結の利益面では、営業利益143億9百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益143億2千7百万円（前年同期比8.7%増）となりました。四半期純利益は、投資有価証券の評価損の計上により53億1千5百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、主に季節的要因により「受取手形及び売掛金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26億5千1百万円増の3,605億3千1百万円となりました。

負債の部は、同様に季節的要因により「支払手形及び買掛金」は増加しましたが、借入金及び社債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億3千3百万円減の2,530億1千1百万円となりました。

純資産の部は、「利益剰余金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ38億8千5百万円増の1,075億2千万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.4%から29.3%に、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の405.26円から421.57円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績の進捗をもとに、平成22年5月14日に公表した予想数値のうち、営業利益、経常利益、当期純利益を下記のとおり修正いたします。当期純利益につきましては、当第2四半期までに計上した投資有価証券の評価損25億2千8百万円の影響を考慮したものです。

なお、四半期における有価証券の減損処理につきましては、洗替え方式を採用しているため平成23年3月期の期末の時価により、特別損失の額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	588,000	17,200	17,000	8,000	31.88
今回修正予想 (B)	588,000	17,700	17,500	6,000	23.91
増減額 (B - A)	—	500	500	△2,000	—
増減率 (%)	—	2.9	2.9	△25.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	585,116	17,102	17,018	8,017	31.78

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当社（提出会社）及び連結子会社において当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べ、売上総利益、営業利益及び経常利益はそれぞれ6百万円、税金等調整前四半期純利益は270百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は350百万円であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

③「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,269	12,910
受取手形及び売掛金	55,274	49,702
商品及び製品	23,705	27,382
仕掛品	667	973
原材料及び貯蔵品	6,331	6,992
その他	15,568	13,927
貸倒引当金	△1,281	△1,176
流動資産合計	115,535	110,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,479	72,449
機械装置及び運搬具（純額）	58,229	60,072
土地	72,402	71,725
その他（純額）	13,010	12,086
有形固定資産合計	215,122	216,334
無形固定資産	5,459	5,517
投資その他の資産		
投資有価証券	13,761	14,051
その他	10,918	11,663
貸倒引当金	△266	△398
投資その他の資産合計	24,414	25,315
固定資産合計	244,995	247,167
資産合計	360,531	357,880

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,867	59,365
短期借入金	6,062	6,870
1年内返済予定の長期借入金	5,485	5,997
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	5,450	3,619
未払費用	32,172	29,854
その他	22,729	22,314
流動負債合計	139,768	138,022
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	30,507	33,147
退職給付引当金	11,488	11,668
その他	11,245	11,406
固定負債合計	113,242	116,222
負債合計	253,011	254,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,442	19,442
利益剰余金	67,083	63,522
自己株式	△1,138	△1,129
株主資本合計	107,091	103,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△981	△1,833
繰延ヘッジ損益	△1	35
為替換算調整勘定	△322	△37
評価・換算差額等合計	△1,305	△1,835
新株予約権	173	142
少数株主持分	1,560	1,788
純資産合計	107,520	103,635
負債純資産合計	360,531	357,880

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	314,685	316,177
売上原価	217,200	215,215
売上総利益	97,484	100,962
販売費及び一般管理費	84,469	86,652
営業利益	13,015	14,309
営業外収益		
受取利息	59	55
受取配当金	245	279
受取家賃	240	251
持分法による投資利益	138	103
その他	579	487
営業外収益合計	1,263	1,178
営業外費用		
支払利息	874	965
その他	226	195
営業外費用合計	1,100	1,160
経常利益	13,179	14,327
特別利益		
固定資産売却益	1	58
負ののれん発生益	—	68
補助金収入	45	21
移転補償金	45	—
その他	—	10
特別利益合計	92	158
特別損失		
固定資産処分損	487	144
(財)ひかり協会負担金	823	833
減損損失	12	5
投資有価証券売却損	278	0
投資有価証券評価損	—	2,528
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	263
その他	191	6
特別損失合計	1,793	3,781
税金等調整前四半期純利益	11,478	10,704
法人税等	4,341	5,414
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,290
少数株主利益又は少数株主損失(△)	149	△25
四半期純利益	6,987	5,315

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(注)下記表記の「第2四半期」は累計期間(4月1日～9月30日)です。

(1) 連結

① 当第2四半期の業績 (単位:百万円)

	金額	前同差	前同比(%)
売上高	316,177	1,492	100.5
営業利益	14,309	1,293	109.9
経常利益	14,327	1,148	108.7
四半期純利益	5,315	△ 1,671	76.1

② 通期の業績予想 (単位:百万円)

	金額	前期比(%)	当初予想からの増減額
売上高	588,000	100.5	-
営業利益	17,700	103.5	500
経常利益	17,500	102.8	500
当期純利益	6,000	74.8	△ 2,000

③ 設備投資および減価償却費 (推移と見込み) (単位:億円)

	設備投資額	減価償却費
平成19年3月期実績	290	165
平成20年3月期実績	288	178
平成21年3月期実績	219	164
平成22年3月期実績	162	164
平成23年3月期見込み	160	169
平成23年3月期第2四半期実績	76(73)	83(80)

平成23年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

④ 研究開発費 (推移) (単位:百万円)

	金額
平成19年3月期実績	4,893
平成20年3月期実績	4,841
平成21年3月期実績	4,704
平成22年3月期実績	4,650
平成23年3月期第2四半期実績	2,402(2,313)

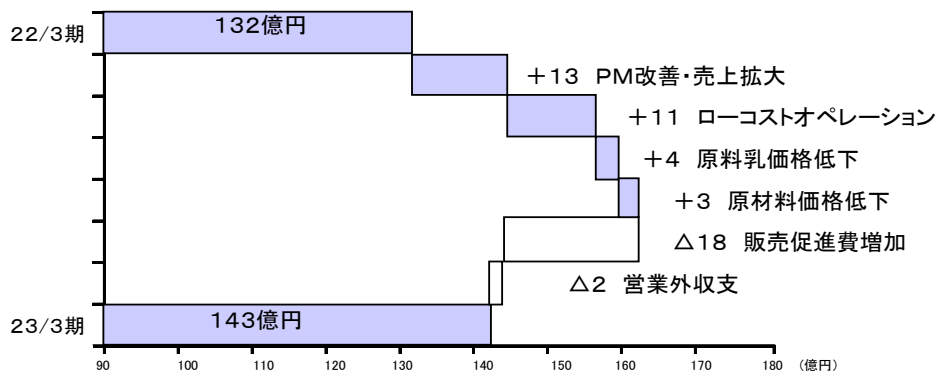
平成23年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

⑤ 従業員数(推移)

	9月末	3月末
平成19年3月期実績	5,896名	5,718名
平成20年3月期実績	5,979名	5,799名
平成21年3月期実績	5,867名	5,739名
平成22年3月期実績	5,592名	5,653名
平成23年3月期実績	5,705名	-

(2) 連結経常利益の増減益要因

連結経常利益の増減益要因 (第2四半期比較)



(3) 個別

① 当第2四半期の販売実績

(単位:百万円)

製品分類	金額	前同差	
		前同差	前同比(%)
市乳計	107,666	△ 5,517	95.1
牛乳類	40,452	△ 3,208	92.7
乳飲料等	36,050	△ 1,313	96.5
ヨーグルト	24,767	357	101.5
プリン等	6,395	△ 1,352	82.5
乳製品計	47,494	704	101.5
練乳	2,246	95	104.4
粉乳	17,705	△ 619	96.6
バター	5,965	662	112.5
チーズ	21,577	564	102.7
アイスクリーム	34,241	2,207	106.9
その他計	49,695	176	100.4
飲料	17,315	166	101.0
その他	32,379	10	100.0
合計	239,097	△ 2,428	99.0

(注) その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる
 ※上記の個別売上高については、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 部門別売上高予想

(単位:百万円)

	通 期		下 期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
市乳計	203,400	96.6	95,734	98.4
牛乳類	78,200	94.0	37,748	95.5
乳飲料等	65,800	98.3	29,750	100.7
ヨーグルト	46,400	101.7	21,633	101.9
プリン等	13,000	88.3	6,605	94.8
乳製品計	96,500	100.6	49,006	99.8
練乳	4,400	100.3	2,154	96.4
粉乳	35,600	97.0	17,895	97.4
バター	12,000	105.6	6,035	99.5
チーズ	44,500	102.4	22,923	102.2
アイスクリーム	52,800	105.9	18,559	104.1
その他計	98,300	104.3	48,605	108.7
飲料	30,300	101.3	12,985	101.7
その他	68,000	105.7	35,621	111.5
合計	451,000	100.1	211,903	101.4

③ 設備投資および減価償却費（推移と見込み）

（単位：億円）

	設備投資額			減価償却費
	合計	うち生産設備	うち販売設備	
平成19年3月期実績	262	241	21	123
平成20年3月期実績	210	191	19	132
平成21年3月期実績	132	116	16	118
平成22年3月期実績	111	100	11	117
平成23年3月期見込み	113	102	11	118
平成23年3月期第2四半期実績	60(52)	55(46)	5(6)	56(57)

平成23年3月期第2四半期実績の（ ）内は前期第2四半期実績を表示

④ 従業員数（推移）

	9月末	3月末
平成19年3月期実績	3,165名	3,036名
平成20年3月期実績	3,159名	3,068名
平成21年3月期実績	3,165名	3,103名
平成22年3月期実績	3,187名	3,103名
平成23年3月期実績	3,146名	-

⑤ 集乳量（推移）

（単位：千トン）

	集乳量		
	合計	北海道	都府県
平成19年3月期実績	811	467	344
平成20年3月期実績	839	485	354
平成21年3月期実績	826	500	326
平成22年3月期実績	854	491	363
平成23年3月期第2四半期実績	420(432)	242(244)	177(188)

平成23年3月期第2四半期実績の（ ）内は前期第2四半期実績を表示

ご注意

本資料の業績予想については、発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的として作成されたものではありません。